

上尾市立芝川小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標
○進んで学習する子
○たくましい子
○思いやりのある子

学校課題研究主題
「自分自身で考え、伝え、
主体的に学ぶ児童の育成」

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
・国語、算数ともに平均正答率は全国平均と同程度である。また、理科平均正答率は、全国平均よりも高い。 ・国語の漢字の書きに関する知識・技能を問う問題の正答率が低い。 ・算数では、図形の意味や性質に関する問題の正答率が特に低い。 ・理科では、花の作りや受粉に関する問題の正答率が特に低い。	・学力レベルの平均は、国語、算数ともに市の平均と同等もしくは、1レベル高い。 ・学力を伸ばした児童の割合は、埼玉県の平均を5年生は上回り、6年生は下回った。 ・学習方略は、5年生が埼玉県と比較して高い傾向が見られ、非認知能力の自制心の項目の数値は、市と比較して低い。	・国語、算数ともに、平均正答率は全学年が全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況である。特に3・4年生の平均正答率が高い。 ・国語の高学年の、話すこと・聞くこと、読むことに課題がある。 ・算数の高学年で数と計算に課題がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①様々な言葉を知り、活用する力 ②文の構成を理解する力 ③応用問題に対応するために必要な基礎的・基本的な力 ④情報を整理する力	⑤適切な言葉を使用し、伝えたい内容を明確にし、適切に表現する力 ⑥見通しをもち筋道を立てて考察する力 ⑦身についた知識や技能から応用できるものを適切に選び、考えを導き出す力	⑧あきらめず、最後までやり遂げる力 ⑨他者との違いを認め、気付いたことを自らに生かす力 ⑩協働して活動する力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・辞書を活用し、言葉に注目した授業を実施する。 ・授業で振り返る時間を確保し、授業内容の確実な定着を図る。 ・自主学習を推進し、復習でのさらなる習熟を図る。 ・ICT端末を活用し、必要な情報を集める活動を取り入れる。	・ねらいに応じた学習形態の工夫と伝え合う場を設定する。 ・見通したり、予想したりする時間を確保し、全員に自分の考えをもたせる。 ・伝える相手を考えた表現の仕方を工夫させる。 ・自らの考えを書く機会を増やし、児童同士互いに見合う活動を取り入れる。	・学習規律について、定着するまで繰り返し指導する。 ・あきらめず考える姿勢を身に付けさせるよう指導する。 ・意見の交流や議論など、対話的な学びを適宜取り入れる。 ・協働的な学習を取り入れ、児童同士が高め合える授業を展開する。

本校の特色ある取組

- ・一部教科担任制の実施
- ・ICT端末を効果的に用いた授業
- ・外部機関との連携、地域の教育力の積極的導入
- ・幼保小連携の充実 ・小中一貫教育の充実

家庭教育との連携

- ・家庭学習の充実
- ・ホームページの充実による地域住民への情報発信
- ・ICT端末使用のルールやマナーの家庭との共有
- ・地域連携による学校環境の整備
- ・学習ボランティアの活用